

平成27年度 事業実施報告書

（事業報告書の順に記載）

情報部会

生物多様性保全部会

星空観察部会

里山保全部会

再生可能エネルギー部会

その他の活動

学習センター事業部



指定管理者として運営する「緑に囲まれた宇都宮市環境学習センター」

情報部会

1) ホームページの運用 <http://kankyokoudouforum.jimdo.com/>



ホットな情報がアップされたホームページ

26年度末にホームページを全面改訂し、よりタイムリーに情報発信できる仕組みになりました。
 27年度からフォーラムの活動を毎月2回の頻度でアップし、会員の皆さまへの情報提供につとめました。
 引き続き身近な情報発信に努め、会員の情報共有を進めてまいります。

2) 会報誌 (Eco together) の発行



年間4回、7・9・12・3月に45～48号を発行しました。
 部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい構成に心がけました。また、「環境クイズ」も復活し、やや難解なテーマもありますが、新しい発見があるとの評判もいただいています。
 今後も、親しまれ機能する会報を目指し、改善を進めていきます。

3) 環境イベントへの参画

① もったいないフェア2015 9月27日(日)

宇都宮城址公園(本丸町) 10:00~15:00
 全体来場者数30,000人(ブース来場者数307人)
 スタッフ6人(フォーラム理事・部会長他)

午前中は雨模様とあいにくのスタートとなりましたが、昼過ぎには雨もあがりイベント日よりとなりました。
 今年も自然に親しむ体験教室として「どんぐり工作」を行いました。今年も昨年の反省をふまえ、材料のキット化を行うなど、スムーズな運営につとめました。
 体験者来場者が途切れることなくスタッフも昼食がとれない程でした。

- ・フォーラム活動紹介をパネル展示
- ・里山保全部会、再生可能エネルギー部会の活動紹介(新鮮な情報でパネルを全面更新しました)
- ・体験型展示:「どんぐり工作」
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布 等

フォーラムブースが一番の賑わい



親もスタッフも「てんやわんや」のどんぐり工作

情報部会（つづき）

② エコ・もりフェア2015 10月3日（土）

子ども総合科学館（西川田町）
9:30～16:00 スタッフ3人
全体来場者数 8,000人（ブース来場者数約 260人）

「もったいない」をテーマに、ペットボトルキャップを使ったマグネットと牛乳パックでコマをつくる体験型展示を行い、たいへんな人気で沢山人で賑わいました。

- ・フォーラム活動紹介のパネル展示
- ・体験型展示：「エコキャップのマグネットづくり他」
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布 等



席が空くのを待たずに立ったまま始める方も

③ エコテック&ライフとちぎ2015 12月5日（土） ～6日（日）

マロニエプラザ（元今泉） 10:00～15:00
（ブース来場者数173人）

県内最大のエコの祭典とも言われるこのイベントは「エコ体験を、もちかえろう」をテーマに、多彩な内容で開催されました。フォーラムの紹介、環境学習センターの紹介、そして体験教室として「牛乳パックでブーメラン」と「どんぐり工作・笛づくり」などを行い、大きな賑わいがありました。



難しいマテバシ一の笛づくりに挑戦

④ 環境学習センターエコまつり2016 3月4日（金）～3月6日（日）

宇都宮市環境学習センター（茂原町）
10:00～15:00 来場者2,542人

フォーラムが運営する環境学習センターの最大イベント「エコまつり2016」を開催しました。雨模様と強い風と必ずしも天候には恵まれませんでしたが、来場者のアンケート結果をみると高い評価を得るとともに、「体験教室」が特に良かったとの反応がありました。今年のテーマは「身近にあるもったいないを発見しよう」で、生活を見直すきっかけにいただきました。フォーラムから「再生可能エネルギー部会」が出展し、部員が毎日常駐し再生可能エネルギーの重要性を訴えました。今年は、水素で動く燃料電池の実験用模型自動車を走らせ注目をあびました。



ミヤリーと一緒に工場見学



再生可能エネルギー部会の展示ブース

生物多様性保全部会

今年度、新たに立ち上がった部会です。生物多様性の維持を可能にする環境づくりのため、行動することを中心に進めています。

- ① 5月～6月に3回の外来種除去作業を実施
環境学習センター周辺には希少な植物が生息しており、外来種から守るため、事務局中心にセイタカアワダチソウ・ハルジオン・ヒメジョオンの除去作業を行いました



外来種を見分けるのが難しいな～

- ② 10月14日セイタカアワダチソウを除去
クリーンパーク茂原グラウンド周辺に大きく育ってしまっている外来種セイタカアワダチソウの除去作業を行いました。今回は、フォーラム5名、環境学習センター講座受講者8名の参加を得て、大規模に行うことができました。取り除いたセイタカアワダチソウは、講座で使用する染めの材料として利用しました。



根っこが強くて引き抜くのが大変！

参加者合計 約20人

星空観察部会

- ① 星空観察会 1月30日（土）は雪のため中止
環境学習センター 18:00～20:00
親子7名と多くの応募をいただきましたが、当日は雪のため中止となりました。

- ② 環境学習センター支援事業
②-1 天体望遠鏡づくり講座 7月26日（日）
環境学習センター 9:30～12:00 / 13:30～16:00
スタッフ6人 受講者合計89人
親子対象の環境学習講座を運営。午前・午後の各回で定員一杯の参加を頂き、宇宙や星、自然について関心を持っていただききっかけとなる講座が実施できました。



親子で夢になってつくりました

- ②-2 冬の星空観察会 12月12日（土）
環境学習センター 19:00～21:00
スタッフ7人 受講者65人（応募117人）

受講者は、普段はなかなか見るのできない大きな天体望遠鏡で星の観察を楽しみました。双子座流星群への期待の中実施しましたが、雲が多く良くみることができませんでした。芝生にグラウンドシートを張って、寝転んで流れ星を見る方法を取り、子どもたちに人気がありました。



外に出る前に星座の解説を

参加者合計 約170人

里山保全部会

① 里山環境の保全

本プロジェクトで実施すること

1. 雑木林の清掃（ごみ等の除去）
2. 雑木林の笹や倒木の整理
3. 雑木林の下草刈りと落ち葉さらい

本プロジェクトにより得られるもの

1. きれいになってゆく雑木林の景観
2. 枯れ木の中や落ち葉の下に棲む虫の観察
3. カブトムシやクワガタの発生（1年後）
4. ~~きのこの発生やシイタケの栽培（将来）~~
5. 春植物の復活（将来）
6. 望ましい姿で存在する雑木林の拡大



<継続活動中 毎月第3日曜日 9:00~12:00 頃>
実績を別添資料に示す。（延べ参加人数 44人）

② 環境学習・環境教育の場の提供

②-1 環境学習センター支援事業

<プログラム内容>

「自然観察とフィールドビンゴ」

4月18日（土）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ1人 参加者27人（親子）

「ネイチャーゲーム」

5月24日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ4人 参加者46人（親子）

「丸太切りと笹刈り」

6月27日（土）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ5人 参加者26人（親子）

「セミ羽化観察」

7月26日（日）19:00~21:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ3人 参加者61人（親子）

「落ち葉さらいと焼きいも」

12月20日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ6人 参加者41人（親子）

「バームクーヘンをつくろう」

2月6日（土）9:00~12:00

みずほの里山保全周辺 スタッフ3人 参加者31人（親子）

「野鳥観察会」2回

1月10日（日）9:00~12:00/ 2月7日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ5人 参加者31人（親子）

「落ち葉さらいと焼きいも」

2月21日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全 スタッフ4人 参加者43人（親子）



雑木林の成り立ちを学ぶ



竹を使ってバームクーヘンを焼く

②-2 瑞穂台小学校体験学習を担当（地域支援活動）

10月9日（金）9:00~11:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ6人 参加者40人（1~6年生）

昨年同様、地元小学校の総合学習「里山体験」コースを企画し指導しました。里山にある動植物を観察するとともに、どんぐり工作と丸太切りを体験しました。

地域貢献活動の一つで、後日、お礼の手紙をいただきました。

②-3 ツリフネソウ観察会

9月13日（日）みずほの里山保全地周辺で希少種の観察を行いました。参加者 4人

参加者合計 約430人



体験学習でどんぐり工作

再生可能エネルギー部会

部会活動活発に

栃木県における「再生可能エネルギー」に注目し、その確実な進展に向けて市民とともに学び・発信していきこうと、平成24年度部会が設立されました。今年度は、先のCOP21パリ協定「脱炭素社会への挑戦」の動きを反映し、環境学習センターに常設展示されているパネルを全面改訂しました。

27年度も、精力的に勉強会を実施するとともに、環境学習センターで開催された「チャレンジもったいない」や「エコまつり」でブースを出展し部員が市民に積極的に情報発信しました。また、環境学習センター主催の再生可能エネルギー施設見学会の企画運営を行うなど幅広く活動を進めていることが評価され、新会員が入会するなど活動が強化されています。

① 月例勉強会＋外部研修会

毎月1回（原則第3土曜日）、環境学習センターで実施し講師を交替でつとめ、研鑽を積んでいます。今年度の研究テーマは「水素」、勉強会だけでなく下記見学など外部へも積極的に出向き情報の収集につとめています。

- 6月 東京ガス宇都宮支社訪問
- 6月 福島・布引風力発電所他を見学
- 12月 東京・水素ステーション他を見学

（延べ参加人数 81人）



水素ステーションと試乗したMIRAI

② 「チャレンジもったいない2015」にブース出展

8月22日（土）10：00～15：00
環境学習センター1階展示場 展示ブース来訪者 約40人
太陽熱温水器の模型づくりにチャレンジ、実験も行い夏休みの自由研究報告書ができました。

③ 「エコまつり2016」にブース出展

3月4日（金）～3月6日（日）
環境学習センター1階展示場 展示ブース来訪者 約60人
部会が足で稼いで集めた栃木県内の再生可能エネルギーの普及状況調査結果と脱炭素社会実現に向けて再生可能エネルギーがいかに重要であるかを訴えたパネルを展示し、市民の方々の理解を求めました。今回は、燃料電池車の模型を試走させました。これは、太陽光パネルの電気で水から水素をつくり、その水素を使って発電するシステムで未来を予感させるものです。



燃料電池車の仕組み説明する部員

④ 環境学習センター支援事業

バスで行く県内の施設見学会を、例年どおり事前調査調整から当日運営まで幅広く担当しました。今回のテーマは「地球温暖化に取り組む先進の施設見学会」で、参加者は大きな驚きと感動を得ました。

10月20日（火）9：00～16：15 スタッフ4人 参加者40人参加



富士重工（株）航空宇宙カンパニーで

コジェネレーションやゼロエミッション活動を見学



鹿沼市にある黒川終末処理場で

下水処理からでるバイオガスでの発電を見学

その他の活動

① 春の野鳥観察会 5月16日(土)

鬼怒川河川敷(上桑島町)緑地運動公園周辺 9:00~12:00

スタッフ5人 参加者12人

低く垂れこめた雲のなか、野鳥はやや見にくかったが、元気な鳥たちを観察することができました。ヒバリ、トビ、コジュケイ、さらにカワセミも、確認できた鳥は30種に及びました。



美しいカワセミを1羽川岸に

② 冬の野鳥観察会 12月13日(土)

栃木県中央公園(睦町) 9:00~12:00

スタッフ9人 参加者78人

初めて市街地での開催となり、地の利の良さと天候に恵まれ、多くの参加者をいただきました。イカル、アトリなど確認された鳥は19種と多くはありませんでしたが、野鳥の会のスタッフの楽しい解説を聞きながら、じっくりと観察することができました。



多くの人が集まり出発前に全体説明

③ プチ農業体験プロジェクト(地域活動支援事業)

地元さつきのプロジェクトチームとの共催で、農家の畑をお借りしておいし〜いお米をつくりました。

レンゲまつり、田植え・稲刈り・収穫祭と一年を通じて親子で自然に親しむ楽しい講座になりました。

5月 4日(月)レンゲ祭り(摘み草、レンゲ遊び、ゲーム、敵草がゆなど) 親子52人

5月17日(土)田植え 親子50人

9月13日(日)稲刈り・天日干し(カエル調査も実施) 親子46人

10月12日(土)収穫祭(脱穀体験、新米食べ比べ、芋ほり、焼きいも) 親子69人

延バスタッフ15人 延ベ参加者232人(親子)



田んぼの肥料になるレンゲを摘んで



泥だらけで田植えを・・・



カマをつかって稲刈り体験

④ 講演会でフォーラム活動を紹介 5月16日(土)

宇都宮大学 13:30~15:30
パネラー1人(理事長) 参加者約50人

宇都宮大学で開催された「少子高齢化をみんなで考えよう」にパネラーとして理事長が参加しました。環境学習センター改革の過程で大切にしたい高齢者の社会参加・地域資源の活用などフォーラムの活動の一端を紹介することができました。パネラーには衆議院議員の細野豪志氏も参加し、活発な議論が展開されました。



パネルディスカッション風景

⑤ 県助成金を得て、環境教材を開発 6月~3月

市民への環境学習機会の提供はフォーラムの重要なミッションとの認識から、今回、県の若手職員と研究チームを立ち上げ、調査研究の結果を反映し、県の助成金で教材を制作しました。本教材は、環境学習センターに寄贈され今後の環境学習に活用していく予定です。

制作教材： 「ゴミと下水のゆくえ」下敷き 1000 枚
教材対象： 中学生以上向け(紙芝居風のつくり)
助成金： 平成 27 年度環境活動促進事業助成金
10万円



制作した教材(下敷き形式)

⑥ 宇都宮工業高校で環境講座を開催 3月2日(水)

県立宇都宮工業高等学校 講堂 13:30~14:20
講師1人(理事長) 出席者 1年生全員320人

高校生を対象に、「ごみと下水のゆくえ」と題して、身近な環境問題をテーマに循環型社会形成と地球温暖化防止をどのように実現しているかを解説するとともに、日本の卓越した技術を紹介しました。教材として前項で制作した下敷きを使用しました。栃木テレビが取材に入り、同日夜2回放映されました。



熱心に聞き入る生徒たち

その他の活動参加者合計 約720人

学習センター事業部

平成27年度の年間利用者はやや減

27年度の年間利用者数は、エコまつりと環境映画会の参加人数減により前年度比97%ですが、一般来館者と自主グループ等の利用は増えています。

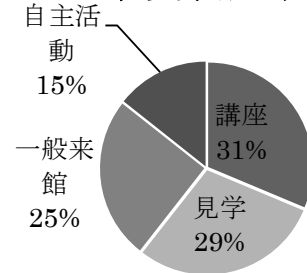
累計利用者は40万人超え

平成13年開設以来、15年が経過しましたが、累計利用者は40万人を超えました。

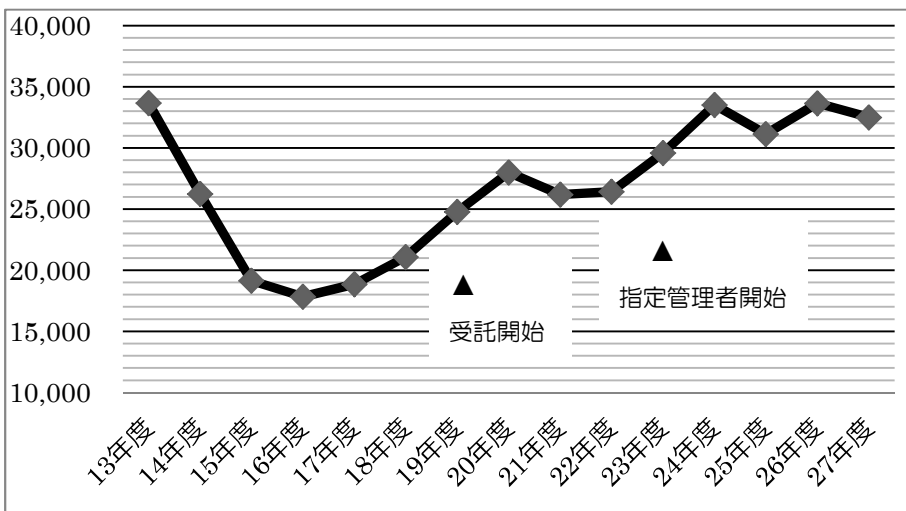
環境学習講座をフォーラムも支援

主力事業である環境学習講座の利用者は、10,178人で全体の31%を占めていますが、フォーラムでもいくつかの講座の企画運営を担当し、利用者増に寄与しています。

27年度利用者分布



(人) 年間利用者の推移 (H13~H20環境フェア含む)



年間利用者数 32,497人



「エコまつり2016」は、2,542人の方々が来館し、各ブースは大盛況でした。

① 環境学習機会提供機能

□ 「地球温暖化」、「生物多様性」を重要テーマに、環境大学・講演会・見学会を開催しました。

◆環境大学（前期・後期 各5回シリーズ）



前期「農業と環境」
大谷夏いちご（地下水利用）の見学



後期「環境とエネルギー」
日本最大のソーラークッカー（足工大）

◆生物多様性連続講演会（第1回）



「オオタカの秘密、オオタカの魅力」
オオタカ保護基金代表 遠藤孝一さん

- ◆再生可能エネルギー施設見学会（10月）
/フォーラムの再生可能エネルギー部会が企画運営/
地球温暖化防止に取り組む施設見学会

- ①富士重工株式会社（ガスエンジンコージェネ）
- ②鹿沼市黒川終末処理場（バイオガス発電）



黒川終末処理場バイオマス発電

□「生物多様性」に着目し、体験型の講座を実施しました。



宇都宮の川で遊ぼう（8月）



渡良瀬遊水地（4, 6月）



足尾植樹（8月）

② 活動支援機能

□自主グループ

講座卒業生で構成される自主グループは、10グループまで増え活動を継続しています。当センター最大のイベント「エコまつり」では、無料体験コーナーを企画運営していただき人気を集めています。今年度は、3日間で967人の方が体験しました。

□こどもエコクラブ（うつのみや自然探検隊）

うつのみや自然探検隊の活性化に努め、自治体登録数で比較すると、登録数で全国1位、メンバー数で全国2位となっています。



うつのみや自然探検隊(レンゲまつり)

③ 交流促進機能

□「チャレンジもったいない2015」を実施（8月）

昨年を上回る632人も親子が参加してくれました。夏休み最後の土曜日一日をオープンハウスとして、夏休み宿題にもなるリサイクル工作を中心にした、16の体験型ブースを出展しました。

□釜川マイクロ水力発電を実施（12月）

宇都宮工業高校と連携し、廃棄された自転車を利用したマイクロ水力発電装置を製作、釜川に設置しました。今年はイルミネーションのほか、多くの人に楽しんでもらうため、ミヤリーのドキドキセンサー（相性診断装置）を設置しました。（BSフジで放映）



ハギレでチューリップ



釜川マイクロ水力発電



相性診断装置

④ 情報提供機能

□ホームページをリニューアル

ホームページを全面更新し、情報発信力を強化しました。また、フェイスブックを活用し、講座やイベント等の旬な情報をリアルタイムで提供してきました。

⑤ 体質強化機能

□職員の教育研修を実施

教育を毎月実施し、職員のスキルアップに努めるとともに、毎日、朝会、夕会を実施し、情報の共有化を図ってきました。